

会員企業探訪

高品質な スペシャルティ コーヒーを気取らず 愉しめる場所に

イマジン・珈琲店 岸本 展明



焙煎・豆の販売に特化したIMAGINE. COFFEE ROASTERY
元々あった和菓子屋さんの建物がそのまま残る



和風の内装に、民藝のアイテムを随所に取り入れ
「松江らしさ」を大切に店舗づくりに



ものづくり補助金を利用して購入した
最新の焙煎機
ロスも少なく、安定した品質の仕上がりに



2Fのグループ店「SUPREME HOTEL」では
カレーをメインに本格的な南インド料理を提供

経営理念

やりたいことを明確にし、
なぜそうしたいのか問いただすことを繰り返す。
すると自ずと見えてくるものもあるし
大事なことが何かもわかってくる。

トレーサビリティが明確で欠点豆が少なく、高品質で特徴的な味わいを持つ極上の一杯。栽培から収穫、選別、生産処理・保管、焙煎、抽出といったすべての行程が管理され、かつ透明性が保証されていることが条件というスペシャルティコーヒーの専門店が、伊勢宮町にあるイマジン・珈琲店だ。店舗を構えたのは七年前だが、創業はその三年前。東出雲町の山間にある古民家からのスタートだった。

「思い出深い祖父の家が空き家になり、さらに潰すという話があった。…」と店主の岸本さんは創業のいきさつを語る。この家を使って何かをしたいとずっと考えていた。高卒後、服飾の専門学校に進み東京でアパレル関係の仕事に就いていたが事情を聞いて急遽帰郷し、その家でカフェを始めることにした。「ロケーションも含めて絶対に良いと自分では思っていました。周囲は田舎。そんなところでやっているとのかと心配もされました」という。はたから見ると向こう見ずな出店だったが、それでも訪れる人も徐々に増えカフェ経営の礎を築くことができた。コーヒー好きで始めた商売。しかしいざ勉強してみると学ぶべきことが多く、どんどん面白くなっていった。なかでも焙煎の奥深さに強く魅了された。焙煎こそがコーヒーの要であり、いくらよくなった生豆でも焙煎によって良くも悪くもなると岸本さんは言う。東出雲で店を経営しながら、寸暇を惜しんで他店に出向き、まるで研究でもする

小売りに特化した店で、ものづくり補助金を活用して最新型の焙煎機も入れた。コーヒースタンドもあり気軽にテイクアウトができるのも特徴だ。こだわりの焙煎所で飲むコーヒーはまた格別だろう。そして店舗の二階は「ジュプリムホテル」という名の南インド料理を出す店とした。こちらも岸本さん自身が好きで始めたもので、爽やかな辛さの魚介や野菜、チキンを使った様々なカレーを食べることができる。

カフェの文化を 日々の暮らしの中に

祖父の遺した家屋敷でゆっくりやればと思いついた。始めたカフェだったが、焙煎の奥深さに目覚め、伊勢宮への移転が人のつながりを生み、自前の本格的な焙煎工房を持つまでたどりついた。

「最初はスペシャルティコーヒーを松江に広めたい、飲む人を増やしたいという気持ちでしたが、だんだんと緊張らずに飲んでいただきたいという方向に変わってきました。こだわりが強過ぎるとやはり疲れます。友達と楽しく話をしながら飲んだコーヒーがスペシャルティコーヒーだったくらいの位置づけがいい」と言う。その変化をもたらしたひとつが最近興味を惹かれるという民藝の心だ。

「普段使うものこそ美しく。用の美に作家名はいりません。一方スペシャルティコーヒーは、いっどこで誰がどのように作ったかがわかる。相矛盾す

ように焙煎機を触らせてもらう時間が多かったとふりかえる。そんな折伊勢宮に出店しないかと持ちかけられた。

伊勢宮で珈琲店という挑戦

七年前、伊勢宮町では通り沿いの店舗をきれいに設えて若者に貸し出そうというプロジェクトが進められ、そのひとつとして声がかかった。最初は伊勢宮？と思った。夜の街のイメージが強い。しかし逆に面白いかもしれないとも考えた。「伊勢宮にコーヒーしか出さない店があってもいいかな」と出店を決め、同時に念願の焙煎機も購入した。イマジン・珈琲店では自家焙煎による本格的なスペシャルティコーヒーを愉しめることはもちろん、長いカウンター席も自慢のひとつだ。このカウンターのほかで客同士の会話が広がりやすいという。カウンターの中から見ていると、話が自然に広がっていく様子がよくわかる。地域づくりやイベントの仕掛け、起業などの興味深い話も多々語られるという。「何かのサロンのような雰囲気もあるし、ここで知り合いになって結婚されたカップルもいます」と岸本さんもよろこぶ。このカウンター席だからこそ様々な化学反応のような人のつながりが生まれ、人が人を呼び面白いコト・モノが生まれる。それがまたイマジン・珈琲店の魅力となっている。

昨年の六月には、二号店となるイマジン・珈琲店ロースタリーを市役所北側にオープンさせた。こちらは焙煎とるようですが、民藝はそれだけじゃないと教えてくれる気がします。今はただ、美味しかった、というところを目指したい」

岸本さんの仕事は店内にとどまらず毎年の「C!C!C!」イベント（コーヒー・カレー・チョコレート）や出張販売、コーヒーセミナーなど多彩だ。コロナ禍が一段落したらクラウドファンディングで支えてくれた人にお返しの意味も込めて楽しめるイベントを開催したいと計画もする。カフェという文化がふだんの暮らしに浸透するように、自然体で挑む日々が続く。

- IMAGINE. COFFEE ROASTERY (ロースタリー)
〒690-0848 島根県松江市市町1-36
TEL0852-67-6614
【営業時間】 11:00~18:30
【定休日】 年中無休
【駐車場】 5台
【Instagram】 @imaginecoffee
- SUPREME HOTEL (ジュプリムホテル)
〒690-0848 島根県松江市市町1-36 2F
TEL0852-67-6615
【営業時間】 11:30~14:00
【定休日】 火曜日
【Instagram】 @supremehotel_jp
- IMAGINE. COFFEE 伊勢宮店
〒690-0006 島根県松江市伊勢宮町503-1
TEL0852-25-9277
【営業時間】 7:30~23:30
【定休日】 火曜日
【Web】 <http://imaginecoffee.jp/>
※新型コロナウイルス感染拡大により、営業時間等が記載と異なる場合がございます。

